

市住の単身者の入居

弱い立場にある人への提供のため

現在の入居要件を維持

問 兵庫県は、4月から単身者の県営住宅入居について、収入要件に合致すれば60歳未満でも入居できるように要件を緩和した。近年の家族形態やライフスタイルの変化に伴い、市営住宅も単身者の入居対象を拡大できないか。

答 県が入居要件を緩和



公営住宅の役割果たす

以上の高齢者やDV被害者等への提供が難しくなる。公営住宅の役割は、住宅困窮者への公平で安定した住宅供給であり、本市としては、現在の入居要件を維持していきたい。

ジェンダー平等

男女の賃金格差

大きな課題

問 男女の賃金格差の是正は、ジェンダー平等社会の土台と考える。市の現状認識と今後の取り組みを聞く。

答 国の調査では、兵庫県の男女間の賃金格差は、男性の100に対し、女性は76・7であり、ジェンダー平等の実現を目指す本市として

て大きな課題と認識している。賃金格差の要因は、女性管理職の割合が低いこと、非正規雇用労働者の約7割が女性であることにある。今夏の制度改正により、常時雇用する労働者が301人以上の事業主は、男女の賃金割合の

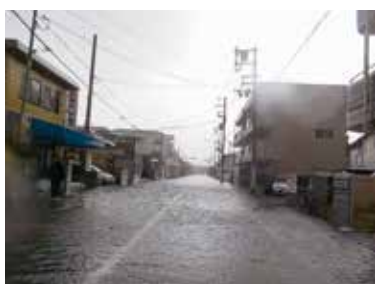
開示が義務付けられる。これにより、格差の実態が可視化され、課題解決へと進むことが期待できる。本市としても国や他の自治体の動きを参考に課題の整理を行い、ジェンダー平等を推進していきたい。

市民の安全安心へ

危険・要注意箇所は57カ所 土木費を削減していないか

問 市長は、子ども施策に予算をかければ地域経済に好循環が生まれるとして、土木費を削減してきた。市の水防活動マニュアルには、危険箇所・要注意箇所が57カ所あるが、インフラ整備に影響はないのか。

インフラ整備は重要であり、市長就任後の平成23年度以降も下水道や道路の整備に向けて、さまざまな事業を行ってきた。今後も、市民の安全安心のため、SDGsの理念を踏まえ、都市基盤の整備もしっかりと進めていく。一方で、予算には限りがあるため、市事業への交付金の確保や国の事業を推進させるために、要望活動を行っているところだ。



インフラ整備は重要

視覚障害者の安全対策

踏切道に誘導ブロック設置

踏切内の誘導表示は今後検討

問 視覚障害者の踏切道の事故を受け、国は安全対策のガイドラインを改定した。本市の安全対策について聞く。

答 改定後の国のガイドラインでは、踏切道の手前に視覚障害者誘導用ブロックを設置することや踏切道内でこぼこのついた誘導表示などを設置することが望ましいと規定している。市内には踏切が51カ所あるが、

誘導ブロックの設置は1カ所だけである。今後は、視覚障害者だけでなく、全ての人が安心して利用できるような、必要に応じて踏切道の手前に誘導ブロックを設置していく。また、踏切内の誘導表示についても視覚障害者団体や鉄道事業者と検討していく。万が一、踏切内に閉じ込められた場合の対策としては、歩行者を運転士に知らせる高性能な検知器の設置を鉄道事業者に働きかけたい。



誰もが安心して利用できる踏切を

完全米飯給食の実施

費用面と量の確保が課題

問 物価が高騰し、食費を削る家庭もある中、子どもたちを栄養面からサポートする意味で、完全米飯給食の実施が

できないか。

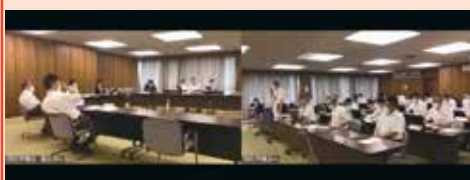
答 本市は、昭和56年度から週2回の米飯給食を開始し、平成20年1月からは週3回に回数

を増やしている。米飯はパンに比べ単価が高く、米飯給食の回数を増やすことは、給食会計への影響が懸念される。また、本市は、明石近郊産米を使用しているが、現在の収穫量では米飯回数の増加に対応できず、量

の確保も課題となっている。現段階では、完全米飯給食の実施は難しいと考えているが、米飯は、日本の伝統的な食生活の根幹であることも踏まえ、望ましい回数について、引き続き研究していきたい。

YouTubeでの映像配信のお知らせ

令和4年6月議会から、常任・特別委員会の録画映像配信を始めました。委員会の会議録が完成するまでの間、ご覧いただくことができます。会議録は、市議会ホームページの会議録検索からご覧いただけます。



左の画面が議員、右が市職員になります

議会ポスターデザイン決定

令和4年度の年4回の議会開催をお知らせするポスターのデザインを市内在住・在学の高中生から募集しました。13人の応募があり、全議員で選考し、優秀賞4点を決定しました。

- 6月議会 荒木 優妃さん (兵庫県立明石北高等学校)
- 9月議会 高宮 千寛さん (兵庫県立明石高等学校)
- 12月議会 嶽本 和奏さん (兵庫県立明石高等学校)
- 3月議会 川崎 菜月さん (兵庫県立明石高等学校)



議員ふもやま話

2022年11月にサッカーワールドカップがカタールで開催される。FIFA(国際サッカー連盟)の加盟国・地域数は209カ国あり、IOC(国際オリンピック委員会)の参加国・地域205カ国よりも多い。ちなみに、国連は193カ国なので、FIFAが世界最大の国際機関であり、サッカーワールドカップが地球上最大のスポーツの祭典と言っても過言ではない。カタールは中東ペルシャ湾に突き出した半島の国で、秋田県と同程度の領土がある。首都はドーハにあり、1993年サッカー日本代表がワールドカップ出場を目前で逃したことで有名な「ドーハの悲劇」はこの国の出来事である。1993年当時、カタールのうだるような暑さに選手たちが苦しんでいる様子は、ブラウン管を通して辛いほどに伝わってきた。今回もカタールの暑さは問題となっていたが、昔と違い潤沢なオイルマネーをスタジアム建設に費やし、最新鋭のクーラーが完備されている。スタジアム外では酷暑でも、スタジアム内は快適な温度に保たれているようだ。今回は悲劇ではなく、歓喜が見られるよう楽しみにしている。